

安全・健康衛生への取組み

取り組む理由

従業員が最大限の能力を発揮して生き活きと働くために、安全と健康は欠かせません。SUMCOグループは、従業員の安全と健康衛生を確保することは、重要な社会的責任のひとつであると考えています。

SUMCOグループでは、SUMCO CSR方針において「SUMCOで働く人に、安全・健康・快適で適正な職場を確保し、人権・能力・個性を尊重して、公正で多様な働き方を実現します」と宣言し、以下の基本理念、基本方針を掲げ安全・健康衛生の取組みを推進しています。

SUMCOグループ 安全健康衛生基本方針

基本理念

SUMCOグループは、「従業員の安全と健康がすべてに優先する」との理念の下、管理監督者が率先垂範し、全員参加の活発なコミュニケーションにより、「安全で心身共に健康な快適職場づくり」に取り組めます。

基本方針

1. 全員参加で、関係法令をはじめ、マニュアルや作業手順等、決められたことを必ず守り守らせる職場づくりに努めます。
2. 全員参加で、労働災害・事故の真因を徹底分析し、労働災害・事故の未然防止と再発防止に努めます。
3. 全員参加で、風通しのよい職場環境づくりと心と身体の健康維持増進に努めるとともに、職業性疾病の予防に努めます。
4. 全員参加で、交通モラルの高揚を図り、社会の模範となれる交通安全活動を推進します。

安全・衛生への取組み

— 推進体制 —

SUMCOグループでは、安全・健康衛生に関する活動状況の報告、および情報交換を行い、グループの安全衛生水準の維持向上を実現することを目的とした全社安全衛生委員会を、毎年開催しています。

この全社安全衛生委員会では、安全衛生を統括する役員が出席し、グループ全体の安全、健康・衛生管理の活動状況や主要な労働災害の報告、次年度の安全衛生に関する取組み課題・目標の審議・承認などを行っています。

また、各拠点においても、全社安全衛生取組み課題に基づき、各年度の安全衛生方針および目標を定め、達成に向けて日々活動しています。

— 労働安全衛生活動 —

SUMCOグループでは、労働安全衛生マネジメントシステム(OSHMS)を導入し、完全無災害を目標として、活動を展開しています。

このシステムは、事業者が従業員の協力のもとに「計画—実施—評価—改善 (PDCA)」という一連の過程を定めて、継続的な安全衛生管理を自主的に行うことにより、職場の労働災害の防止を図るとともに、従業員の健康の増進および快適な職場環境の形成の促進を図り、職場における安全衛生水準の向上を実現することを目的とした安全衛生管理の仕組みとなっています。

— 主な労働災害・交通事故防止活動 —

SUMCOグループでは、労働安全衛生マネジメントシステムに従って、毎年全工場に対してシステム監査(内部監査)を実施しています。また、自主的な安全衛生活動の促進による労働災害の防止を図るとともに、健康の増進および快適な職場環境の形成の促進を図ることで、安全管理レベルの維持・向上に努めています。

また、職場で作業者が潜在的な危険を感じたときにはヒヤリ・ハット事例の報告を義務付けており、この事例報告やリスクアセスメントを通して各職場のリスク要因を抽出・特定し、危険度に応じたリスク対策を行いリスクを低減することで災害の未然防止を図っています。これらのリスク情報やその対策は、各工場の安全衛生担当者全社会議、各工場の職場安全衛生推進員による安全交流会、各工場の安全衛生委員会などの実施を通してSUMCOグループ全体で共有されています。

さらに、各工場毎に行う安全巡視や、安全防災部門や労働組合、産業医の定期的な各工場を対象とした安全巡視により、職場における安全衛生管理状況の点検と指導を行うことで、より高い安全衛生水準の実現を目指しています。

— 安全衛生に関する教育・訓練活動 —

SUMCOグループでは、労働災害や交通事故の防止を目指して、従業員教育や訓練に力を入れています。安全衛生に関するものでは、階層別の安全衛生教育はもちろん、職場安全ミーティ

ングや危険予知トレーニング(KYT)実施、安全に関するDVD視聴や「安全道場」における危険疑似体験による危険感受性向上を通じて従業員の安全意識を高めるとともに、いざという場合の対処法も併せて学ぶことで、災害の未然防止および被害の低減を図っています。

交通事故の防止も重要な課題であり、SUMCOグループでは、交通事故防止教育を行うとともに、交通事故防止に関するDVD視聴、交通事故動画KYTの実施や、ドライブレコーダーによる運転診断・指導を通じて、交通事故の防止に努めています。

災害度数率^(※1)の推移



※1 災害度数率＝労災死傷者数÷延べ労働時間×1,000,000

※2 2018年の全製造業の災害度数率は、本報告書発行時点で未公表

—交通安全活動への参加—

当社千歳工場では、毎年春と秋の交通安全運動として行われる「セーフティコール活動」に参加しています。北海道では観光シーズン到来にあわせ、レンタカーが急増することから、通行するドライバーや歩行者に交通安全の呼びかけを実施しています。

当社九州事業所では、白石地区安全運転管理者協議会の一員として、地域の小中学校を中心とした「カーブミラー清掃活動(3月)」および薄暮時の早めのライト点灯を呼びかける「早めのライト点灯運動(11月)」に毎年参加し、交通安全運動を実施しています。

SUMCOテクノロジー株式会社では、野田地区安全運転管理者協議会の加盟企業として、交通事故防止キャンペーン(新年・春・秋・年末)、薄暮時のライト点灯運動(3(サン)ライト運動)に参加し、社内外での安全運転を呼びかけています。



セーフティコール活動



早めのライト点灯運動

労働・安全衛生・防災 表彰歴等(過去5年)

年月	項目	対象
2014年2月	厚生労働省 無災害記録証 第1種(700万時間)	株式会社 SUMCO 九州事業所(久原)
2014年5月	佐賀県知事感謝状 高圧ガス優良保安責任者表彰	株式会社 SUMCO 九州事業所(佐賀工場)
2015年7月	北海道労働局長表彰 奨励賞	株式会社 SUMCO 千歳工場
2016年3月	総務省消防庁消防団協力事業所に認定	株式会社 SUMCO 九州事業所(伊万里)
2016年6月	厚生労働省 無災害記録証 第2種(1050万時間)	SUMCO TECHXIV 株式会社 長崎工場
2016年10月	優秀安全運転事業所 銅賞	SUMCO TECHXIV 株式会社 宮崎工場
2017年10月	山形労働局長表彰 奨励賞	株式会社 SUMCO 米沢工場
2017年10月	宮崎防火管理等協議会 感謝状	SUMCO TECHXIV 株式会社 宮崎工場
2017年12月	日本赤十字社 功労感謝状(献血)	株式会社 SUMCO 千歳工場
2018年6月	全国危険物安全協会 危険物安全大会表彰	SUMCO テクノロジー株式会社
2018年9月	宮崎県警察本部 安全運転管理モデル事業所表彰	SUMCO TECHXIV 株式会社 宮崎工場
2018年10月	日本赤十字社 銀色有功章	SUMCO テクノロジー株式会社

健康への取組み

— SUMCOグループの健康に関する考え方 —

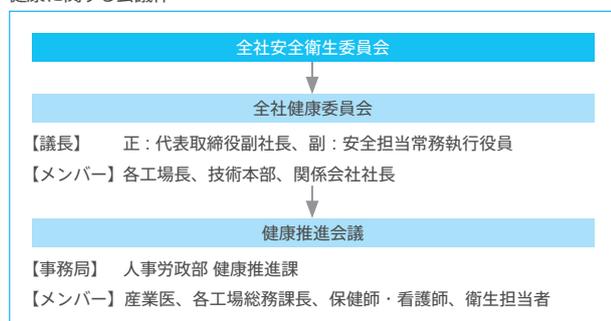
SUMCOグループでは、「従業員の安全と健康がすべてに優先する」との理念のもと、明るく活き活きと働きがいのある職場づくりを目指し、「SUMCOグループ健康宣言」を社内外に発表しています。

— 健康推進体制 —

定期的に全社健康委員会、健康推進会議を開催し、各拠点における活動状況や健康指標の達成度などが報告され、新たな施策が検討されています。

具体的には、人事労政部に健康推進課を設置し、代表取締役副社長が健康経営責任者となり、統括産業医を中心に、SUMCOグループ各事業所の産業医、専任保健師・看護師による個別保健指導や面談、禁煙指導の実施のほか、ストレスチェックによる職場環境改善活動やメンタルヘルス研修などを行っています。

健康に関する会議体



— 健康増進の具体的な取組み —

当社では、従業員の一人ひとりの健康のために、各種施策を全社横断的・計画的に推進しています。

健康活動を強化するにあたり、2018年に従業員と家族へ健康への関心を深めていただくことを願う手紙を送りました。健康維持・増進は自身の日常的・自発的な活動がベースとなるため、家族ぐるみで意識を持って、健康諸活動を積極的に実践していただくことを願っています。

従業員の健康に対する取組みが評価され、SUMCOグループは、経済産業省と日本健康会議が選定する「健康経営優良法人2019 ホワイト500」に認定されました。



SUMCOグループ健康宣言

SUMCOグループは、従業員の健康を重要な経営資源の一つととらえ、個人の自発的な健康増進活動に対する支援と、組織的な取組みの積極的な推進により、全員が活き活きと仕事をする企業グループを目指します。

— 具体的な健康活動の一例 —

1. 禁煙推進活動
 - ・ 建屋内全面禁煙 (2018年完了)
 - ・ 職場対抗禁煙チャレンジレース
 - ・ 出前健康教室 (禁煙、メンタルヘルス)
 - ・ 禁煙外来 (一部事業所)
2. メンタルヘルス
 - ・ ストレスチェック結果に基づく職場環境改善活動
 - ・ メンタルヘルス研修、カウンセラー等への相談体制
3. 生活習慣病対策、その他
 - ・ ウォーキング活動、スポーツジム契約
 - ・ 定期健康診断後の二次検診完全受診活動
 - ・ SUMCO転倒防止体操 (就業時間内)

Voice 04

統括産業医 彌富 美奈子

すべての社員が“活き活き”と働ける職場環境づくりを目指して



SUMCOグループの中核となる製造拠点で2003年からストレス調査の集団分析結果を使用した職場環境改善活動がスタートし、全社にその活動が広がりました。さらに2007年より“活き活き”(＝ポジティブメンタルヘルス)の指標としてワークエンゲイジメントをストレス調査項目に加えて、社員一人ひとり、職場毎にフィードバックしています。今年17年目を迎えるこの職場環境改善活動には、シリコンサイクルなどの外的要因の影響を強く受け、また高い技術開発力が要求される半導体素材メーカーとして、“活き活きと働ける持続的な職場づくりが求められた背景があります。

障がいをもつ社員の方に対しても、主治医、障がい者職業センターのような公的機関とも連携し、関係者が相談しながら障がい特性にあわせた配慮や支援を行うことで、すべての社員が個々の能力を發揮して“活き活き”と働けるような職場づくりを目指しています。